

松島海岸に立つ

平安時代より宮城の「松島」は多くの島々の海食崖と松の風情。また京都の「天橋立」は宮津湾に突き出た白砂青松の砂州。そして広島島の「宮島」は弥山の原始林を背景に瀬戸内海に浮かぶ厳島神社の風光。日本を代表する名勝地（日本三景）であったことが広く知れ渡っていた。これらは古き時代より数々の歴史舞台に登場するとともに和歌や文学にも登場している。誰もが一度は訪れてみたい憧れの地であり、いつの時代も変わることなく人々を魅了してやまない。

宮城県松島海岸を訪れたその日は、梅雨の季節真っ只中で朝早くから雨がしとしと降っていた。所々島影が見えるものの一面灰色の世界であった。朝早い時間でもあり観光客の姿はほとんどなく閑散とした風景であった。

ここを訪ねたのは今回で2度目。前回は5月晴れの素晴らしい天候に恵まれ観光船で島巡りしたことを覚えている。船尾で人なれしたウミネコ数十羽が観光客に餌をねだり、見事な空中演技でお菓子をキャッチする。

松島の見どころは何といっても海に浮かぶ白い岩肌と、松の緑の美しい島々にある。その数260余島。ここは大昔に松島丘陵の一部が河川による浸食でいくつもの谷となり、更に地殻変動もあって海に沈降し海面より高い部分が島となって残っている。その後の風雨と波の浸食で様々な島の形に変化。見る角度によって観光客の目を楽しませてくれている。

周辺を見渡した。東日本大震災の被害の面影はどこにも残っていない。いち早い復興に携われた多くの人たちへ、心からのお見舞いとその労をねぎらいたいと思った。



撮影 2014 年夏

